

漢方関係学会・研究会予定（3月）

これまで新型コロナウイルス感染症の影響下にありましたが、徐々に通常の開催に戻ってきました。この間習得したWeb開催のノウハウを活かしてハイブリッドでの開催が主流になっています。今回は、2025年3月に開催または中止の連絡を頂いた会のみ掲載しております。その他の会に関しましては事前に各連絡先または事務局にてご確認下さい。尚、各会「担当者におかれましては、令和7年4月以降の年間スケジュールを当編集局宛てにお送りくださいますようお願い申し上げます。

●第74回日本臨床漢方医会 漢方家庭医講習会(Web)

日時 3月1日(土) 午後6時15分～7時半
会場 Zoom受講

内容 形成外科医が行う漢方治療(毛山剛)

共催 (株)ツムラ、日本臨床漢方医会

後援 高松市医師会

連絡先 (株)ツムラ 高松営業所 濱岡080・6745・9017

E-mail: hamaoka_takeshi@maltsunura.co.jp

●ANNE X 漢方三考塾

日時 3月2日(日) 午前10時～午後4時半

会場 東京 神楽坂 三考塾 研究室(東西線・神楽坂駅至近)

ハイブリッド(研究室と塾会員のZoom会議) 形式

内容 「本草備要」(廣橋義和)、「金匱要略」(菅沼栄)、「Active Learning」で学ぶ赤本『腹証図解漢方常用処方解説』・青本『古

今名方漢方処方時習』(高山宏世著) (小池加能)

連絡先 東京都新宿区赤城元町2番4号(神楽坂漢方有恒薬局)

TEL 03・3260・7618 Email: sankoju@yuku@gmail.com

●第60回日本東洋心身医学研究会

日時 3月8日(土) 午後0時45分～5時25分

会場 品川インターシティホール(東京都港区港南町2-15-4)

ハイブリッド開催(現地+Web)

オンデマンド配信期間3月19日(水)～4月11日(金)

会長 村松 芳幸(河渡病院/新潟大学(水療内科))

テーマ 「東洋の知恵を心身医療に生かす」

内容 注: 演者及びその主な所属のみを記載

〔一般演題1〕

1 不登校をきたした思春期ストレス関連疾患に漢方治療が奏功した3症例 座長・東邦大学 端詰 勝敬

2 四逆散が神経性過食症の精神症状に奏功した一例 座長・東邦大学 端詰 勝敬

3 中枢性副腎皮質機能低下症の倦怠感に補中益気湯の併用が有効であった一例 福岡徳洲会病院 山下 真

4 風邪に罹りやすい体質や疲労感に対して漢方治療が有効であったと考えられる1例 阪神漢方研究所附属クリニック 藤田 昌弘

5 気管支拡張症に伴う倦怠感に補剤が有効であった一症例 関西医科大学 心療内科学講座 水野 泰行

〔一般演題2〕 座長・昭和大学 中尾 睦宏

1 高齢男性の両下肢から足底の痺れに対し漢方薬が奏功した一例 愛媛県立中央病院 宇都宮 健

2 交通外傷後から長期に抱えた複数の精神症状に対し、漢方薬が奏功した1例 香川大学医学部精神神経医学講座 木戸 瑞江

3 傾聴が重視される職業に従事する身体症状症患者に対し抑肝散加陳皮半夏が有効だった2例 九州大病院 心療内科 三澤 史明

- 4 抑肝散のエビデンス、及び奏功例の検討 吉田病院 清水 謙祐
 5 放射線治療中のQOL改善に対する人參養榮湯の介入効果推定
 東京大学医学部付属病院 放射線科 白石憲史郎

〔一般演題3〕

- 1 社会的敗北ストレスマウスが呈する過敏性腸症候群様症状に対する
 桂枝加芍薬湯の作用 東京理科大学薬学部 生薬学研究室 濱田 実花
 2 平胃散の使用経緯 朋佑会札幌産科婦人科 佐野 敬夫
 3 漢方薬選択に難渋したペーチェット病の1例
 富士クリニック 藤田周一郎

〔一般演題4〕

- 4 両側水腎症を呈した増殖性膀胱炎に対して漢方薬の長期投与が
 奏効した1例 松山赤十字病院 林 哲太
 1 東洋整体療法(推拿療法)と灸療法を用いて多年にわたって続い
 た変形性股関節症が改善した1例 三明整体院 郭 小瓊
 2 生理的飛蚊症に漢方薬が奏効した1例
 岐阜県総合医療センター 産婦人科・東洋医学科 佐藤 泰昌

- 3 月経関連の神経症、不眠症などに対して抑肝散加陳皮半夏(抑肝
 散)を用いた17例 札幌白石産科婦人科病院 武田 智幸
 4 「待てない」軽症精神疾患に漢方薬で対処する試み
 芳賀心療内科クリニック 櫻井 耕

- 5 レビー小体型認知症の精神症状に対して漢方薬が奏効した1例
 (ハンズオンセミナー) (EB・M委員会報告) (教育講演) (第60回
 記念講演) (シンポジウム) (特別講演)
 済生会横浜市南部病院 脳神経内科 中江 啓晴

共催 日本東洋心身医学研究会、(株)ツムラ
 問合せ (株)ツムラ 企画推進部内(東京都港区赤坂2-17-11)
 E-mail: toyoshin@mail.tsumura.co.jp

☎0120・3329・970 (ツムラお客様相談窓口)

●日本東方医学会第18回中医学研修講座―基礎の部

日時 3月8日(土) 午後6時～8時
 会場 WEBによるライブ配信
 内容 研修科目…弁証論治の実際、経絡学説(長瀬眞彦)
 共催 (株)ツムラ
 事務局 (一財)東方医療振興財団事務局 PH03・6264・3016
 E-mail: gakkai@jpho.or.jp

●第69回広島漢方研究会例会

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(2単位)
 日時 3月9日(日) 午前9時半～午後0時半
 会場 広島県薬剤師会館2F・ふたばホール(広島市東区二葉の里)
 内容 「自然毒と生薬」毒と薬は紙一重?!(水島美代子)、「授かる
 には病院か?」(清水枝里)、「気虚の基礎と実践」(中島正光)

主催 広島漢方交流会
 共催 一般社団法人日本生薬学会

連絡先 鉄村 ☎082・2322・7759 E-mail: info@tetsumura.jp
 ●第40回「眼科と東洋医学」研究会

日時 3月9日(日) 午前10時～午後1時
 会場 台東区民会館 特別会議室(東京都台東区花川戸2-16-5)
 ハイブリッド開催(現地開催およびZoomによる配信)

内容 一般演題、特別講演1「眼科と東洋医学」と私(竹田眞)、特
 別講演2「漢方内科医の眼科領域へのアプローチ(仮)」(伊藤隆
 山本昇伯(山本眼科医院・和歌山市手平1-5-29))
 事務局 ☎073・4223・7905 E-Mail: mfxds021@yahoo.co.jp

●京都漢方研究会第34期3月講座

日時 3月9日(日) 午前10時～午後4時
 会場 会場受講とZoomによるハイブリッド開催
 講座会場…京都薬科大学愛学館「愛学ホール」(京都市山科区)

内容 第1講・特別講演 無限に広がる小児領域の漢方治療―冷え

に対する漢方(八木実)、第2講・特別講演 一貫堂医学による治療の実際(木村豪雄)、第3講・履修証書・授与式

事務局 松田久司 ☎080・6866・6932、090・9624・1669 FAX075・762・5612 (細野医院内 松田宛)

E-mail: matsuda.131@outlook.jp

●第64回近畿鍼灸漢方研究会3月例会

日時 3月9日(日) 午前10時～午後5時

会場 大阪国際交流センター3F1号(大阪市天王寺区上本町8-2-16)

会場とWebのハイブリット開催

内容 傷寒論、金匱要略の用語解説(富田知世子)、素問解説(中雅哉)、柴田良治先生の治療メモNo.31(村上清尚)、症候別漢方療法 第29回(夜久泰造)、漢方処方解説No.122(山口尊則)

事務局 富田 E-mail: kinsinkan@yahoo.co.jp

●第51期東海漢方入門講座3月講座

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(3単位)

日時 3月9日(日) 午前10時半～午後4時半

会場 名城大学八事キャンパス(予定)

内容 誰にも分かる漢方基礎「四診と経絡」(林誠一)、瘀血(桂枝茯苓丸の適応症および湿疹)(浮亀造)、一貫堂処方解説 その他の汎用処方、五積散・疎経活血湯(伊藤晴夫)、傷寒論解説(三品尚弘)

事務局 東海漢方協議会事務局・大見生薬(有)内名古屋千種区 ☎052・722・2205 HP「お問い合わせフォーム」より

●日中医薬研究会関西支部3月月例研究会

日時 3月15日(土) 午後1時～午後4時半

会場 京都経済センター(京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78)

内容 第44回日中医薬研究会全国大会

発表 ①神農本草経収載薬物を探る、②新型コロナウイルス感染症お

よび後遺症に対する今後の指針、質疑応答 他

事務局 田中余以德斉薬局(三重県名張市柿町140-1-1) ☎0595・63・0238 FAX0595・63・0268

●藤門会

日時 3月15日(土) 午後2時～6時

会場 全水道会館5階(東京都文京区本郷1-4-1)

会場とZoomによるハイブリット開催

内容 自由課題(松岡尚則)、嘉子の部屋(高木嘉子)、古訓医伝(小林瑞) 連絡先 ジェーピーエス製薬(株)内 藤門会事務局 ☎045・593・2061 E-mail: shonistagawa@tomonkaikan

●温知会月例会3月講義(第68回)

日時 2月15日(土) 午後6時～8時

会場 湯島聖堂・斯文会館(文京区湯島1-4、お茶の水駅至近)

内容 生薬解説:辛温解表剤 羌活・白芷(小根山隆祥)、『宋版傷寒論』素読P.30L6～P.33L5(下村貴子)、症例検討:温経湯の臨床応用を考える(横山浩二)、自由演題:大貫先生にぎっくり腰を治して頂いたお話(内山千代・安井廣直)

問合せ ホームページの「お問い合わせフォーム」にて連絡

●日本漢方協会漢方総合講座(第34回) 3月講座

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(3単位)

日時 3月16日(日) 午前10時～午後4時10分

会場 全水道会館(文京区本郷1-4-1)

内容 基礎理論・セルフケア(細野美佐子)、傷寒論 入門・厥陰病・まとめ(小根山隆祥)、最前線の漢方臨床:漢方診療の基礎と極意(新井信)、漢方トピックス:漢方医学の国際化標準化の最前線(並木隆雄)

事務局 一般社団法人日本漢方協会 墨田区両国2-17-19 P.A.Z 両国6階 ☎/FAX03・6659・9980 平日(月～木) 午前10

時〜午後4時迄 E-mail: jikampo@jans.ocn.ne.jp

●第30回東京漢方教育研究センター3月講座

- ・研修認定薬剤師制度認定対象集合研修会
- ・漢方薬・生薬認定薬剤師研修対象講座(3単位)

日時 3月16日(日) 午前10時半〜午後4時55分

会場 受講(先着30名まで)と、Zoomによるオンライン受講(人数制限なし)のハイブリッド形式で実施。ホームページのGoogleフォームよりお申込み下さい。(申込みなしの当日参加不可)

会場 早稲田大学国際会議場(新宿区西早稲田1-20-14)

内容 漢方の初歩・血の方剤(湯田康勝)、生薬解説・檳榔子・杏仁(大坪素子)、処方解説・女神散(松井りか)、康治本傷寒論解説・傷寒論94(中川智代)、特別講義・医療人類学(辻内琢也) 二宮理摩 ☎090・43992・7129

E-mail: tokyokampo@yahoo.co.jp

●山本巖流第三医学研究会(第47回)

日時 3月22日(土) 午後6時〜8時

会場 ZoomによるWEB配信

内容 総合司会(中島正光)、基調講演「方剤中心主義から病態中心へ」西洋医学的病態を考えながら漢方方剤を組み立てて使う(山方勇次)、デイスカッション

問合先 山本巖流第三医学研究会ホームページ「参加入会方法」より

E-mail: y.daisani@akui@gmail.com

●第75回日本臨床漢方医学会 漢方家庭医講習会(Web)

- ・日本医師会生涯教育参加証対象講座(1単位)

日時 3月22日(土) 午後6時〜8時

会場 Zoom受講

内容 講演:舌痛症(BMS)の見方と漢方治療〜長崎大学病院オーラルペイン・リエゾン外来の取り組み〜(岡安一郎)、特別鼎談:〜

口腔顔面領域の慢性痛と漢方(岡安一郎、山口孝二郎、渡辺賢治) 日野市医師会、多摩市医師会、クラシエ薬品(株)、日本臨床漢方医学会

後援 東京都医師会

連絡先 クラシエ薬品(株) 富田080・5938・6267、平山070・3184・4883

●九州漢方研究会令和7年3月例会

日時 3月23日(日) 午後1時〜4時

会場 WEB配信と会場での開催(会場は事務局に確認)

内容 漢方・傷寒論の理論解説(小嶋孝明)、漢方薬の症例検討(山本晶弘)、漢方基礎理論(久保山慎一)、漢方薬を使った症例検討会(伊藤誠)、

事務局 斉藤容子(招き猫調剤薬局) 福岡市中央区舞鶴1-8-11

☎070・8372・6637 FAX092・406・4062

E-mail: kyusyukampo@gmail.com

●柿田塾3月度定例会

「柿田塾定例会の再開は今のところ未定となっております。詳しくは柿田塾ホームページをご参照下さい」

連絡先 おのころ治療院内柿田塾・兵庫県淡路市志筑1-138-6

☎0799・62・0990

(以上 敬称略)

注意:各会の参加要件・参加費用等は個々に異なりますので必ず事前にご確認下さい。